

第1回水木しげるロードリニューアル基本計画・基本設計検討委員会
議事概要

日 時 平成26年9月2日(火) 13:30~15:15
場 所 境港商工会議所3階会議室
出席者 別添

1. 開 会
2. 市長挨拶
3. 委員紹介
4. 委員会設置の目的と委員会設置要綱の説明(事務局) 資料1
5. 委員長及び顧問の指名
市長が以下のとおり、委員長及び顧問を指名
委員長：足立收平氏(境港市都市計画審議会委員)
顧 問：堀 繁氏(東京大学アジア生物資源環境研究センター・教授)
6. 委員長挨拶、副委員長の指名
足立委員長が以下のとおり、副委員長を指名
副委員長：権田淳一氏(水木しげるロード振興会会長)
7. 事業の進め方、スケジュール等について
事務局が事業の進め方等の案を説明。
以下の3点について委員全員一致で承認を受けた。
 - ・基本計画・基本設計の実施方針について 資料2 別 紙
 - ・部会の設置について 資料3
 - ・スケジュールについて 資料4

(主な意見等)

○委員

駅前200mの県道区間がリニューアル対象外となっているが、鳥取県と何らかの調整はとっているのか。

●事務局

県とは協議を行っており、デザイン等の変更の必要があれば、検討するとの前向きな意見をいただいている。ただ、現在利用できるものは利用する意向。
市道区間の設計が決まり次第、県と具体的な協議を行う。

○委員

電柱は、既存のまま使用するのか、それとも地中化にするのか。

●事務局

具体的な方式はまだ決まっていない。地中化は、高額のため、景観に配慮をした架空方式を軸に検討している。また、部分的に地中化するハイブリッド型もあるが、費用的に高額になる。地中線は安全ではあるが、復旧時間がかかるというデメリットもある。多様な面から検討していきたい。

○委員

先日水木しげるロード内で、車と子供の接触事故があった。できれば車の走りにくい道にしてほしい。例えば、美保関の青石畳のような車道はどうか。

○委員

本町アーケード下の道は、終日歩行者天国にすべき。

○オブザーバー

一方通行は、観光客にとっても良いことだと思う。しかし荷捌きのスペースを設ける必要がある。

道路に石畳のような舗装してスピードの出ない道にしてほしい。また騒音も減らすよう検討をしてほしい。

休憩スペースを多くしてしまうと、歩道を広げたメリットが薄れるのではないか。